

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	愛玩動物飼育啓発事業		
事業担当	環境部 環境政策課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'01	1 地域の特性や景観を活かしたまちづくりを進める	
根拠法令等	動物の愛護及び管理に関する法律		
対象・受益者	市民、動物の飼養者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
飼育者自らが適正な愛玩動物の管理やまちの美化に取り組んでいます。		愛玩動物の飼育者増加に伴い、飼育モラルの向上を図るため、飼育に関する情報提供や啓発を行います。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	パンフレット配布部数			単位	部
	説明・算定式	狂犬病予防注射時にマナー等のパンフレットを配布				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	13000	13000	13000	13000	
	実績	12400	12475	12226		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	犬・猫に関する苦情・相談件数			単位	件
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	30	28	26	25	
	実績	9	47	96		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
集合注射に訪れた飼育者等に啓発用リーフレットを配布することや、啓発用看板を配付・掲示することによって、マナーの向上を図りました。また、野良猫については、飼育管理のルールに関わる啓発を行い、野良猫を介したトラブルの軽減を図りました。						
平成26年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	動物の愛護と適正飼育に関する飼育者の社会的責任の自覚を促し、動物の飼育に対する地域住民の理解を促進していく必要があります。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	飼育者が果たすべき基本的役割や法令を遵守し、動物の生態、習性、生理に応じて、動物を生涯にわたり適正に飼育するという責務を啓発するために有効です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	飼育者と動物に好意を持たない市民の、我慢や対立のない受容による調和のとれた関係を築くため、継続的な啓発による相互理解の促進が求められています。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	継続的な取り組みが必要であり、ウェブサイトやパンフレット等を通じて、情報提供及び啓発に努めます。	高中低
今後に向けた課題の分析 獣医師会・保健福祉事務所とさらに連携を図り、動物の愛護及び飼育者の責任・モラルの啓発に、より一層努める必要があります。また、自治会や市民に向けて、野良猫の適切な飼育管理の仕方について啓発と普及を行い、市民が自主的に活動ができるようにする必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		ホームページでの周知とパンフレットの配布等	ホームページでの周知とパンフレットの配布等	ホームページでの周知とパンフレットの配布等	ホームページでの周知とパンフレットの配布等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		-	-	-	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 パンフレットの配布及びウェブサイトの充実等により効果的な情報提供や啓発に努めます。
課長コメント あらゆる機会をとらえて普及啓発に努め、飼育者の責任の自覚及びマナー向上を図ります。